

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
 発行・令和3年6月1日・第26号通信
 責任者・小林 孝夫(井の口まちづくり会会長)
 〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
 事務局長・片岡 学史 kataokabaru@cocoa.plala.or.jp
 通信作成・馬場わかよ bwakayo@sf.commuja.jp

コロナ禍の中で2つの事業を開催

まちなかお月見アート

令和2年10月28日(水)▽11月1日(日)
 まちなかアート部会



妙照寺門前に長く飾られた「花生け」

残念ながら今年度のまちなかお月見アートは、新型コロナウイルス感染症の影響で参加者を募集してのまち歩きイベントを中止しました。すべて中止にする意見もありましたが、コロナ禍のこのような状況下でも、例年通りにススキを配布して住民の皆さんに玄関先に飾っていただくことで、ススキが飾られた美しいまち並みと十三夜の月を愛でることができ、少しは楽しんでいただけたのではないかと、役員会で話し合いました。

10月28日午前、役員らが河原でス

スキを刈り、午後からふくろう絵工房を基点に大勢の方に配布しました。その日のうちに井の口のあちこちにススキ飾りが創出され、翌日は十三夜。11月1日まで飾っていただきました。

またこの日、妙照寺門前と大仏殿東側のバス通りには、川原町・華久による「お月見の花生け」のアート作品が展示されました。こちらは長く11月1日過ぎても飾っていただけ、道行く人や車窓からもたくさんの人たちの目を惹かせていました。皆さまのご協力に感謝いたします。

(加野直巳)



華久による「お月見の花生け」(大仏殿東側バス通り)

コロナ禍の一年を振り返って…

井の口まちづくり会 会長 小林 孝夫

クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス号」の検疫ニュースは大きな驚きを与えましたが、長期にわたりこれほどまで拡大すると予想できなかったでしょう。直後となる2月の「井の口寄席」を最後にまちづくり会活動は停止してしまいました。昨年度の多くの事業計画はことごとく中止または規模縮小に迫り込まれ、井の口の四季の移ろいさえ感じづらくなっています。毎月のように開催されていた役員会も間が空き、社会の好転の兆しをうかがっているうちに過ぎてしまった一年でした。その中でも何とか開催できる事業を探り、会員の手によるお月見のススキ飾りと、会場を変更した年賀状展がせめてもの成果といえるでしょう。会場を全開放する換気対策、来場者の検温、マスク確認、ソーシャルディスタンスの徹底など開催条件は辛いものがありました。が、会員の努力は今後の活動に活かされることになりました。

当面はこうした新型コロナウイルスと共存するスタイルを取り、社会情勢を鑑みながら可能と判断できる事業を進めていきたいと思います。ワクチンの早期普及を期待し、井の口の歴史・文化の継承と、住んで楽しいまちづくりに向けた活動を再開していきます。

(一社)岐阜県観光連盟 観光功労者表彰を受賞しました

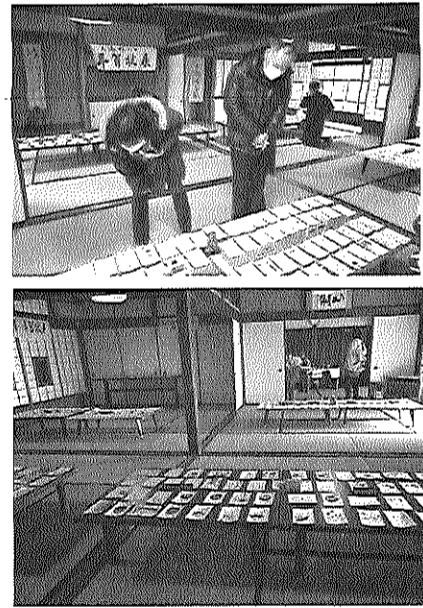


令和2年度、岐阜県の観光事業に井の口まちづくり会の活動が尽力したとして観光功労者表彰をいただきました。例年は6月の岐阜県観光連盟総会の席上で表彰式がありますが、コロナ感染拡大から発送に替えられました。

大仏様への年賀状展

令和3年1月8日(金)▽10日(日) まちなかアート部会

「大仏様への年賀状」も11回目を迎え、今年から年賀状展の会場を「につけん小規模多機能ホーム今町」にて準備を進めて来ましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、急きよ正法寺庫裡に変更して、右記の3日間開催しました。今年約半数が年賀郵便で届き、毎年出展をお願いしている絵手紙グループや岐阜小学校の児童たち、さらに、につけんホームへ通所の皆さんからもいただき、投函箱を設置した大仏殿、メディアコスモス中央図書館、JR岐阜駅アクティブGの3カ所と合わせて、330枚以上になりました。寒さが増した正月に、庫裡の戸を開け放つて換気対策、検温、手指消毒をお願いしての開催でしたが、もう少し近所からの見学があればと残念に思います。(伊藤逸夫)



9つのテーブルにびっしり並べた年賀状

前年よりアクティブG2階ふれあい広場に投函箱を設置いただき、さらに本年から、コナミススポーツクラブ前の通路(Gストリート)に長期間、展示をしていただきました。

連結の収納フィルムに330枚ほどの年賀状を並べた小さなスペースでしたが、足を止めて熱心に見ていかれる方も見かけました。大仏様への年賀状を多くの人たちに見ていただく機会を感謝いたします。



アクティブG年賀状展

(馬場わかよ)

まちなかお宝アート発見 丸市木村商店のポーセラーツ

今町2丁目にある小さな屋根神様が目印。洗い格子が美しい築百年ほどの商家の玄関脇に、可愛いらしいお皿の写真とともに「ご用の方はチャイムを押してください」の文字を貼ったボードが立て掛けてあります。

ここは丸市木村商店。代々、提灯等の絵付けが生業でしたが、その部門は分離され、ご夫婦で和紙や提灯の材料を卸す会社をしてみえます。

お店に入ると目の前の棚には、奥様の孝子さんが20年来の趣味で制作している「ポーセラーツ」の器が並びます。これは白磁器に花やカラフルな模様の転写シールを貼って焼き付けるもので、いまの季節はチュウリップやサクランボがティーカップや洋皿に描かれ、また、端午の節句に合わせた和の柄合いのものもあり、レパートリー豊かな陳列です。クリスマスには真っ赤なサンタクロース柄も登場します。

お値段は箸置きなどの小さなものは200円から。1点ものの花絵の盛り合わせ皿などもお値打ちで、「安くはないと買っていただけない気がして」と孝子さん。焼き上がりのイメージを伝えれば、あなただけのオリジナルな食器も制作していただけます。一度チャイムを鳴らしてみませんか？

玄関脇の「ウエルカムボード」



陳列棚と制作者の木村孝子さん

井の口まちづくり会・令和3年度定期総会に替えて

令和2年度に引き続き、令和3年度の定期総会も大型連休を前にして、新型コロナウイルス感染拡大により岐阜県独自の第4波非常事態宣言が発せられ、真に残念ながら開催することができなくなりました。チラシ・ポスターには中止の旨を記載してありましたが周知が徹底できず、会員の皆さまには多大なご迷惑をおかけしましたこと、この場を借りてお詫びいたします。

会費納入のお願い！まちづくり会は会費によって運営されます。

令和2年度 収支決算報告書

収入の部 (円)				
項目	2年度予算	2年度決算額	増減	備考
前年度繰越金	55,746	55,746	0	
会費	200,000	202,500	2,500	
助成金	30,000	30,000	0	金華まちづくり協議会
イベント参加費	25,000	0	▲25,000	まちなかお月見アート
	30,000	0	▲30,000	井の口寄席木戸銭
視察研修参加費	0	0	0	視察研修開催延期
備品貸付け費	2,000	0	▲2,000	
利息	2	1	▲1	
合計	342,748	288,247	▲54,501	

支出の部 (円)				
項目	2年度予算	2年度決算額	増減	備考
視察研修費	0	0	0	視察研修開催延期
部会活動費	20,000	6,000	▲14,000	大仏様への年賀状展
	25,000	22,925	▲2,075	まちなかお月見アート
	30,000	0	▲30,000	井の口寄席開催中止
広報費	66,000	33,000	▲33,000	まちづくり会通信(1回)
印刷費	1,200	0	▲1,200	
会議費	20,000	16,300	▲3,700	役員会等の会場費等
総会費	8,000	0	▲8,000	定期総会開催中止
顕彰札作成費	30,000	0	▲30,000	
協賛費	0	0	0	大仏フェスティバル中止
	5,000	0	▲5,000	おんぱく開期変更
消耗品費(事務費)	20,000	25,770	5,770	用紙代、インク代等
通信費	10,000	6,300	▲3,700	郵便切手代等
小計	235,200	110,295	▲124,905	
次年度繰越金	107,548	177,952	70,404	
合計	342,748	288,247	▲54,501	

令和3年度 井の口まちづくり会役員紹介

令和2年度において役員改選が保留となっております。今年度も引き継ぎとなりますが、事務局長と幹事1名の交替を書面にてご承認願います。

特別顧問	堀 達夫	幹事	
顧問	杉山 秀子	安藤 幸延 (梶川町)	
相談役	松原 和生	岩佐 純一 (木挽町)	
	高橋かずえ (松ヶ枝町)	片岡 雅子 (大仏町)	
会長	小林 孝夫 (大仏町)	加野 直巳 (大宮町1)	
副会長	堀 智仙 (梶川町)	○鈴木 健雄 (梶川町)	
	伊藤 逸夫 (下茶屋町)	高橋紀久子 (大仏町)	
事務局長	○片岡 学史 (大仏町)	武井 英男 (夕陽ヶ丘)	
会計	後藤 勝利 (山口町)	名和 利夫 (松下町)	
会計監査	杉山 範彦 (梶川町)	林 憲和 (松山町)	
	篠田 壽夫 (下茶屋町)	神山 明 小林 教子	
		馬場わかよ 森 喜彦	

◎今年度の会費納入に関しましては、会計後藤勝利までお届けいただければ幸いです。また、井の口地区内では近くの役員が徴収に伺います。何卒よろしくお願いいたします。

- 部会長
- ・まちなかアート部会 伊藤 逸夫
 - ・まちの風景検討部会 名和 利夫
 - ・まちの歴史探索部会 岩佐 純一
 - ・広報通信作成部会 馬場わかよ

令和3年度 主な活動計画(案)

活動計画は、新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。

- ・4月29日(祝) 定期総会 開催中止
- ・6月1日 井の口まちづくり会通信第26号発行 (広報通信作成部会)
- ・6月27日(日) 井の口地区自治会長会議 (広報通信作成部会)
- ・7月10日(土) 第11回まちなか七夕コンサート (まちなかアート部会)
- ・7月17日(土)18日(日) 大仏フェスティバル協賛
- ・9月～11月 講演会「井の口地区の防災の歴史」(まちの歴史探索部会)
- ・10月15日 井の口まちづくり会通信第27号発行 (広報通信作成部会)
- ・11月16日(土) 第12回まちなかお月見アート (まちなかアート部会)
- ・～23日(土) ススキ飾りのまち並みとお月見の花生けアート
- ・17日(日) 会員が案内するまち歩き(参加者を募集・有料予定)
- ・12月13日～1月7日 第12回大仏様への年賀状 募集(受付期間)
- ・1月14日(金)～16日(日) 大仏様への年賀状展(まちなかアート部会)
- ・2月下旬 第13回学生まちなか寄席「井の口寄席」
- ・3月上旬 「まちの文化的建造物」顕彰の選定(まちの風景検討部会)

(会計監査報告)

令和2年度井の口まちづくり会の会計について、関係書類、預金通帳等を監査したところ、収入及び支出いずれも適正に処理されていることを報告します。

令和3年4月5日

会計監査 杉山 範彦
会計監査 名和 利夫

まちなかアート部会 まちなか七夕コンサート

令和3年 7/10 (土)

日時：7月10日(土) 17時30分開場～18時開演
会場：般若寺(木挽町・公園の湯前)
出演：GGGクインテット(岐阜弦楽合奏団 有志)

今年の七夕コンサートは、新型コロナウイルスの感染対策として【歌のないコンサート】を企画しました。バイオリン・堀江英麻さん・長江浩子さん、ピオラ・増田敦子さん、チェロ・今岡 桂さんに、コントラバス・川村陽一郎さんを加えた弦楽五重奏をお楽しみいただく七夕の夕べです。小さなお子さんでも知っている曲から、皆さんに馴染みのあるポピュラーやクラシック音楽まで幅広いレパートリーをお届けします。ただし、新型コロナウイルスに関する宣言等発出時は中止になります。

令和3年度・井の口地区自治会長会議を開催予定します

令和3年 6/27 (日)

日時：6月27日(日) 19時～ 会場：正法寺(庫裡)

令和2年度は開催できなかった「井の口地区自治会長会議」を、今年は開催したく計画を立てております。私どもが行っているまちづくり会の活動を説明させていただき、ご意見やご提案などをいただくことで、エリア内の自治会の皆さまと一緒にこのまちの歴史・文化の継承やにぎわいを創出していくための会議です。コロナ感染の状況によっては開催を見送らなければならないこともございますが、別途、各自治会長様宛にご案内を差し上げますので、ご出席をお願いいたします。

事務局だより

●事務局長 片岡 学史

感染症対策で、密を避ける生活様式が求められていることもあつてか、いま世の中はおひとり様ブームらしい。ひとりカラオケ、ひとりゴルフにソロキャンプ。誰に気を使うこともなく、確かに自由で楽しそうだ。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、本会が行う主な行事は、大仏様への年賀状展を除き軒並み中止となった。中止となったまちなか七夕コンサートやまちなか歩き、井の口寄席などは、気楽なおひとり様とは反対側にある、人とのつながりが密で濃いイベントだ。まちづくりは決して大げさなものではなく、自分たちの住むまちで楽しく安心して暮らしたい、そんな想いから始まるものだ。今年こそ新型コロナウイルスが終息し、地域の人々と密に関わり、まちが楽しくなるイベントが行えることを願いたい。

●広報通信部会長 馬場わかよ
2年連続で定期総会が開催できない状況を、誰が予測できたでしょう。総会での特別講演を岐阜市文化財保護課・内堀信雄氏に昨年もお願いしていました。演題は「大河ドラマ『麒麟』を受けて」です。

運が無いのか岐阜市は、コロナ禍がなければNHK「麒麟がくる」で脚光を浴び、多くの観光客がこのまちに押し寄せたはずで、まちなかまちづくり会にとっても残念なことでした。

昨年は中止した七夕コンサート、歌がなくても楽しめるのが音楽です。また、活動計画案にはありませんが、内堀氏には「麒麟」の集大成をお話しいただきたいものです。